

静岡県文化プログラム

ねらい

オリンピック・パラリンピックを『文化の祭典』として盛り上げ、国内外からの誘客を図る。

2020年を“静岡県文化プログラム2020フェスティバル”と称し広報を展開

2020年以降も、訪れる人が、いつでも本県の多彩で魅力的な文化芸術に触れることができる環境を整える。

多様な文化の担い手を各地域で根付かせ、自発的な活動を支援する仕組みをプラットフォームとして、文化芸術振興の専門機関（アーツカウンシル）に引き継ぐ

プログラムの構成

区分	内容
認証プログラム	< 日本を代表する文化・芸術活動 > オリンピック・パラリンピック組織委員会との共催で、「Nipponフェスティバル」の一環として実施するプログラム
	< 静岡県の特徴ある文化・芸術活動 > 県推進委員会が企画し、関係団体が実施するプログラム 県文化施設等での企画・展示、イベント等
	< 県内各地で展開する独自の取組・市町の取組 > 県推進委員会が支援し、県民等が担い手となり展開する先進性・独創性のあるプログラム 市町や地域団体が開催する展覧会、コンサート、演劇公演、地元の祭などの文化イベント

“静岡県文化プログラム2020フェスティバル”の展開

	2019年度 プレ・フェスティバル	2020年度 フェスティバル	2021年度～
	ラグビーW杯 開催(9/20-11/2)	2020東京大会 開催(7/24-9/6)	
認証プログラム	全国的プログラム	★ 東京2020 NIPPON フェスティバル	SPAC野外芸術フェスタ アンティゴネ
	県域プログラム	500日前イベント 伝統芸能F 現代舞踊 伝統芸能フェスティバル 大茶会 オープニングセレモニー 郷土唱歌 伝統芸能フェスティバル	世界お茶まつり「春の祭典」「秋の祭典」 国際オペラコンクール 地域伝統芸能全国大会 県美「屏風爛漫」 ふるさと富士写真展 現代舞踊 大茶会 伝統工芸品展 忠臣蔵
	地域密着プログラム	市町のプログラム 団体のプログラム	展覧会、コンサート、祭、田楽、食文化イベント など
	実施組織	静岡県文化プログラム推進委員会（～2021年3月）	文化芸術振興の専門機関（アーツカウンシル）（2020年度中～）

「東京2020 NIPPONフェスティバル」共催プログラム ふじのくに野外芸術フェスタ2020静岡 宮城聰演出SPAC公演



Festival d' Avignon (2017) Shizuoka Performing Arts Center
ANTIGONE directed by Satoshi Miyagi
© Christophe Raynaud de Lage

実施団体：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会

実施日程：2020年5月2日～5日(予定)

場 所：駿府城公園

国際的に活躍するSPAC-静岡県舞台芸術センターが、野外舞台を設営し、芸術総監督宮城聰演出『アンティゴネ』を上演。
同作は2017年アヴィニオン演劇祭の開幕を飾り、2019年にはニューヨーク「Japan2019」に招聘されている。
「ふじのくに せかい演劇祭」「ストレンジシード静岡」と一体となり、舞台芸術を中心にしたフェスティバル・シティとして、世界からの観客を静岡に迎え入れる。

県域プログラム

県推進委員会が企画し、関係団体が実施するプログラム

プログラムの名称(仮称) (主催団体)	会 場(開催日)	
	2019年度	2020年度(予定)
現代舞踊と音楽の祭典 (佐藤典子舞踊研究所・実行委員会)	磐田市民文化会館 大ホール(9.23)	グランシップ 中ホール(7.26)
ふじのくに各流大茶会 (ふじのくに各流大茶会実行委員会)	茶の都ミュージアム (9.25～9.29)	茶の都ミュージアム (7.29～8.2)
ふじのくに伝統芸能フェスティバル (静岡県文化財団)	グランシップ 中ホール(9.22)	富士宮市文化会館 (5.30又は5.31)
工芸展「手の愉悦 - 革新する工芸」 関連展「静岡の先端技術」展 (静岡文化芸術大学、県工芸家協会)		静岡文化芸術大学 (関連展6.26～7.12) (工芸展7.17～8.2)
静岡県郷土唱歌を歌おう (「静岡県郷土唱歌を歌おう」実行委員会)	グランシップ 大ホール(3.29)	
県民参加創作演劇公演「忠臣蔵」 (SPAC)	(参加者を募集)	グランシップ 大ホール(8月)



現代舞踊と音楽の祭典(2019.9.23)



ふじのくに茶の都ミュージアム

県文化施設等での企画・展示、イベント等(美術展、世界お茶まつり、障害者芸術祭など)

地域密着プログラム

県推進委員会が支援し、県民等が担い手となり展開する先進性・独創性のあるプログラム

平成29年度から、公募により採択した団体による、アーティストと連携した取組を文化芸術振興の専門家（プログラム・コーディネーター）が支援（H29:13団体、H30:12団体、R1:19団体）

次世代の発掘・育成

当プログラムを見たことをきっかけに、伝統芸能団体に子ども達が入会



伊豆のODORIKOフェスティバル

教育、福祉など 様々な分野との連携

学校の外で行う文科系の「地域部活」は全国の先進事例として注目されている



掛川未来創造部Palette

地域の活性化

地域芸術祭では、アーティスト・イン・レジデンスにより、地域の魅力の再認識、コミュニティの活性化が期待される



富士の山ビエンナーレ

食文化
×
伝統芸能



歴史的建造物の活用



市町や地域団体が開催する文化イベント（展覧会、コンサート、演劇公演、祭など）

文化プログラムへの参加方法

1 鑑賞者として

ブンプロ

検索

県内各地域で開催される文化プログラムの情報を**ブンプロ・ホームページ“イベントカレンダー”**等で入手し、鑑賞者として参加

2 実施主体として

認証制度を活用

文化プログラムに**エントリー**し、**地域資源を活かしたイベントなどの実施主体（主催者）**として参加。**シンボルマークを利用したPR**が可能



2018年度



2019年度



2020年度

ブプロ・ホームページ

イベントカレンダー、認証制度、モデルルート
など、詳しい情報はこちらから

<https://shizuoka-ac.org/>



モデルルート、随時更新！

静岡県観光協会と連携し、モデルルートを
ホームページに掲載

【モデルルートの例】

- 静岡駅
- 静岡県立美術館
- 日本平夢テラス
- 久能山東照宮
- 地球環境史ミュージアム
- 静岡駅

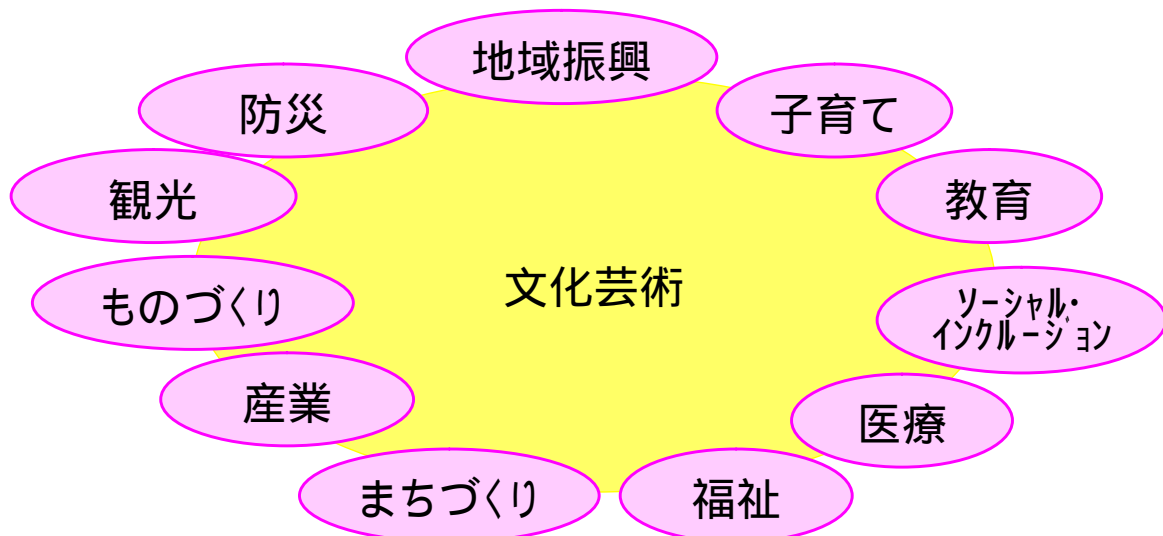
静岡県文化プログラム 2019ガイド



静岡県文化プログラム推進委員会事務局(グランシップ1階) 電話054-204-0310 E-Mail: info@shizuoka-ac.org

テーマ “地域とアートが共鳴する”

地域の様々な分野で、多様な担い手が、文化プログラムに取り組みます。
情報の提供・発信などの連携をお願いします。



文化が持つ、個人の感性・創造性を育む力や、産業、医療、福祉など地域や社会に及ぼす力を活用することにより、心の安らぎや人のつながりなどを実感し、誰もが自由に文化を楽しみ、お互いを尊重できる社会の実現を目指します。